

令和6年 第2回 原村議会定例会 一般質問通告一覧表

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1	芳澤 清人	1 教員の働き方改革について	1 小中教員の勤務時間は増加傾向にあり、10年前に比べて長時間化しているというベネッセ教育研究所の報告がある。また、若手教員ほど勤務時間が長いという調査結果もある。本村の小中教員の勤務実態はどうか。	教育長
			2 長時間勤務に対する対策はどのように実施されているのか。対策のガイドライン等はあるのか。	教育長
			3 管理職の勤務、特に教頭職は1日11時間30分以上と一般教員よりも長時間勤務と言う調査結果もある。近い将来DX化、勤怠管理システムなど導入の考えは。	教育長
			4 村単の教員採用は小中学校にとって大きな助けになっているが、報酬や手当については県採用とは差がある。また、学校での公務分掌や部活指導等も他の教員と同等であることから、負担は大きい。負担なく気持ちよく勤務出来る体制や手立てを考えるべきではないか。	教育長
			5 クラブ活動地域移行に対し教員の研修が予算化された。来年度の地域移行は待たなしで行われる中、スポーツクラブ側も受け入れるための研修会参加が必要ではないか。	教育長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
1	芳澤 清人	2 中間教室について	1 文科省の報告によれば、全国的に不登校児童生徒が前年度比 22% 増加し、過去最高値を更新したとあったが小中学校の実態はどうか。	教育長
			2 中間教室としての教育基本姿勢方針、教科内容等はどのように行われているか。また何を目標に重きを置いているか。	教育長
			3 生徒児童の学習評価と復学への支援体制、学校との連携、保護者への説明と理解はどのように考えているか。	教育長
		3 幼保小中の一貫教育について	1 広報はらにおいて、教育委員会、子ども課による幼稚園、保育園、小学校、中学校の望ましい連携と一貫教育の推進についての取り組みが紹介されたことは、住民への理解を得るための非常に良い方法であった。しかし、幼稚園、保育園、小学校、中学校の一貫教育に向けた具体的なカリキュラムや交流といった方策がみえていない、このことをどう捉えるか。	教育長
			2 一貫教育を進めるにあたり何が必要で、何を優先すべきかを検討するための一貫教育検討会を原村教育研究会内に立ち上げたらどうか。	教育長
		4 通学路について	1 中学校から柏木への通学路は JA から郵便局を下るよう設定されているが、実態とは異なっている。通学路の変更は考えられるか。	教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1	芳澤 清人		2 県道、旧通学路の歩道、縁石が雑草で繁茂している、このままでは景観上にも良くない。村で処理してくれるのか。	村長
2	平出 敏廣	1 南部地域をどう考える (やつがね、判之木、南原)	1 これからの高速交通時代に合わせた、諏訪南インター周辺域から本村にかけての南部地域の土地利用計画をどう考えるか。	村長
			2 都市計画はないが、土地利用計画を示し村の考えを周知すべきではないか。 宅地や農業地域などゾーン分けは必要であり、無秩序な土地利用により将来利用しづらくなる可能性も懸念材料となっている。	村長
			3 昨年の質問で移住・定住を進める上で上下水道整備地域への誘導が財政処置上必要であり、土地の用途変更についても青地の白地化が出来るよう検討を求めたが、その検討はされたか。	村長
			4 下水道整備を南部地域3地区（やつがね、判之木、南原の未整備地域）で望んでいることは、これまでも他の議員からも質問されている。今後この地域に整備可能とする条件は何か。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	平出 敏廣		<p>5 民間調査で住み心地ランキング1位。また、長野県内の自立持続可能性自治体として、本村が該当していると報道がありましたが、どう捉えているか。</p> <p>また、従来から住み続けている方から、自分たちも住みやすいと思うような地域作りをと訴えがある、村長としての考えは。</p>	村長
		2 本村の農業をどう考える	1 テンサイシストセンチュウに関して補助事業は令和7年度で終了であるが、その後については、村単で行うのか。	村長
			2 セルリーの病害に関して、今年度は亜リン酸を使用しているが、その効果はなにを求めるものか。次に使用する薬品についての内容は何か、詳細は。	村長
			3 対処療法で、本当に良いのか。先を見据えた農業対策を関係機関と検討すべきと考えるが。	村長
		3 緑の食料システム戦略とオーガニックビレッジ宣言	1 農林水産省では、みどりの食料システム戦略を踏まえ、オーガニックビレッジに取り組む市町村支援を行っており、取り組みを進め「オーガニックビレッジ宣言」をする自治体が増えている。4月1日には飯田市でも宣言をおこなった。本村の考えは。	村長
			2 農林課全職員がみどりの食料システム戦略とは何かについての理解度は十分か。群馬県農政部では、国の方針を受け有機農業について職員全員で学習会を開いたと聞いた。宣言するかしないかは別として理解することは必要と考えるが。本村の考えは。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	平出 敏廣		3 信州の環境にやさしい農業定着・拡大支援事業2事業が4月から始まっている。 1つ目は「信州の環境にやさしい農産物認証」に定額5万円。11名以上の取り組みで8万円の支援がある。 2つ目は「長野県有機プラットフォーム先進活動支援」に定額5万円の支援がある。 このことを村は積極的に広報したらどうかと考えるが。	村長
			4 オーガニックビレッジ宣言をした自治体では、担当課職員が有機栽培農家を把握しながら、栽培農家、加工者、学校給食、農産物販売所などに宣言に必要な内容や事項を説明し、理解を得て、行政が中心となり取り組み宣言をしている自治体が多いと感じている。村内の有機栽培農家、特別栽培農家などに取り組みを進めるべきだと感じているが、どうか。	村長
		4 水道事業の委託及び広域化について	1 現在の委託業務は検針のみと承知しているが、今後は他の業務もあり得るか。	村長
			2 中信地区の自治体で開栓業務を委託していたが、水道料金の滞納により閉栓され滞納金を支払ったのに70日間開栓してもらえなかった事案があった。委託先の理由は、「今後も滞納があるかもしれないから」という判断からだった。これは行政としてあってはならない行為。本村はこの事案と直接関係はないかもしれないが、委託業務を考える際に注意が必要と考える。本村で委託する際、特に注意している点はあるか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
2	平出 敏廣		3 水道事業の広域化は今後どうなるのか、広域化になったとき予期しない民間事業者が入り失敗した事例がある。本村の考えは。	村長
3	中村 浩平	1 日本で最も美しい村連合への加盟は何のため	1 三代の村長に渡って加盟し、会費も納め続けているが、そもそも「NPO 法人日本で最も美しい村連合」に対し、何をどうしてもらいたいのか。	村長
			2 この会の名称には「主語」が抜けているため、「何が」日本で最も美しい村なのか誰も分からない。執行部の認識は。	村長
			3 これまで加盟してきた期間と、当該 NPO 法人に支払った金額の総額は。	村長
			4 多年に渡って高額な年会費を支払ってきたが、いったい当該法人は本村に何をしてくれたのか。	村長
			5 加盟の成果が見て取れないが、住民サービスが向上した具体的事例はあるのか。	村長
			6 もう加盟をしなくても良いのではないかとの声をよく聞くが、いつまで加盟し続ける予定か。何をもちいて目的達成となるのか。	村長
		2 県が作り村に移管された畑かん施設の改修等について	1 弓振、御射山、深山地区にある畑かん施設のそれぞれの経過年数は。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	中村 浩平		2 今後の改修計画と、その場合の畑かん組合（受益者の団体）の負担割合は。	村長
			3 地区内の農家が毎年支払う畑かん使用料、この徴収基準等を執行部は把握しているか。	村長
			4 管路について、村と受益者（個人）との所有権の界はどこか。	村長
			5 管路を地区外に伸ばしていくことは、村として許可できるか。	村長
		3 職員の名札の「名」を隠す意図は	1 令和6年5月6日の新聞報道によると、職員の名札を「氏」のみにするとあった。オープン化、グローバル化している時代に逆行する愚策であるが、なぜそうしたか。	村長
			2 執行部の発表によると、「行政サービス向上に向けた変更」とあるが全く理解できない。なぜ名刺の「名」を隠すことが行政サービスの向上になるのか。	村長
			3 他にも新聞に「プライバシー保護が目的」と書かれていたが、そもそも公務を行う上で、職員の氏名や顔写真は個人情報なのか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
3	中村 浩平		4 住民に「名前」と「顔」を知ってもらうことで初めて信頼関係が構築される。直ちに名札を「氏名」表記に戻すべきであるが。	村長
4	森山 岩光	1 ほ場整備施設の一体的改善整備の考えは	1 昭和50年より始まったほ場整備事業は、平成19年度に村内11地区、対象面積977ha、総事業費171億円余によりほ場整備され、農業生産は飛躍的な発展を遂げ、現在に至っている。反面、ほ場整備内の施設（道路・水路・側溝）は経年劣化に加え、凍み上がり、自然災害などで破損など発生し、生産活動に支障が出ている状況だ。組織主体を立ち上げ事業化し計画的、一体的な改善整備をする時期と考えるが。（令和3年12月定例会一般質問にて）の再質問。答弁では、「一体的、計画的に進める事が重要。今後検討委員会を立ち上げ、地元受益者組織・県と協議し、補助要件に見合う計画の作成を行い進めたい」だった。 改めて、今までの経過、検討結果について伺う。	村長
			2 新たな農業基盤整備対策として、中山間地域農業農村総合整備事業により実施するとしている。事業内容、既存の事業との整合性について見解は。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4	森山 岩光		3 畑灌整備面積は264ha、内200ha程は設置から30～50年程が経過し経年劣化の状態だ。地区の営農組合・地権者組織により管理運営しているが、資金面などで運営状況は厳しい。県と連携し、補助要件に見合う計画的な更新・整備改善を実施すべき時と考えるが、村の见解は。	村長
		2 農地利用（地域計画）の将来構想について	1 農業者の高齢化・リタイア農家などで遊休農地の増加が懸念され、加えてほ場整備地区外は、立地条件が悪く荒廃農地も散見されている状況だ。 新規担い手・規模拡大農家への農地集積・集約化の進捗状況と課題は。	農業委員会長
			2 ほ場整備エリア内は農地パトロールでの確認を行っているが、確認結果については、対面で地権者に説明し理解を得るべきと考えるが、現状はどうか。	農業委員会長
			3 農地流動化策として農地の賃貸借を推進しており、相対により利用権設定を行っている。利用権者はルールを守り生産活動されているか。	農業委員会長
			4 農地の賃貸借について、需給バランスの状況はどうか。	農業委員会長
			5 農地転用の事案件数はどの位発生しているか（直近5年間）。	農業委員会長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4	森山 岩光		6 近年、農振地域に住宅が散発的に建てられており、虫食い状態で計画性に欠ける、との声を聞いている。この状況をどう捉えているか、検討されているか。	農業委員長
			7 農業用地を取り巻く環境は、年々複雑・多様化して来ている状況下、令和6年度は地域計画の策定年度である。現状を踏まえて、農地利用の将来構想（10年後の地域計画）をどのように描いているか。	農業委員長
		3 村の財産は、適正に管理されているか	1 平成9年に、深山地区環境保全林（防風林）が整備された。管理は最寄区が実施しており、環境保全の役割を担って来ている。この保全林は未だ、村名義になっており疑念の声が出ている。現状の管理体制に至った経緯について伺う。	村長
			2 委託・指定管理施設を除いて、村名義の施設、財産を該当区などが管理している事例は他にもあるか。	村長
			3 村の財産を27年間、区費を投じて維持管理（草刈り・伐採・倒木・枝払い）している状況である。次世代に対して、誤解・疑念を招く事のないよう該当区、関係者と調査・協議し内容を明確にすべき時ではないか。	村長

通告番号	発言議員名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
5	村田 俊広	1 倒木について	1 3月の重い雪で村内のあちこちで倒木被害が発生している。現状の把握はできているか。	村長
			2 倒木処理への支援は可能か。	村長
			3 倒木を減らす対策は考えられているか。また倒木利用の促進策はあるか。	村長
		2 住民の移動手段の確保について	1 「のらぎあ」の利用状況はどうか。	村長
			2 「のらぎあ」だけでは住民の生活をカバーしきれない。よりきめ細かいニーズに対応するためボランティアの皆さんとの協力が必要と考えるが、現状はどうか。	村長
			3 送迎ボランティアに対する保険などの補助が必要ではないか。	村長
		3 遺跡出土品の展示について	1 阿久遺跡の出土品について整理状況はどうなっているか。	教育長
			2 文化財整理室や埋蔵文化財収蔵庫を展示室として機能強化することは考えられているか。	教育長
			3 将来的に博物館として整備することをめざしてはどうか。さしあたって小学校に展示することを考えてはどうか。	教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5	村田 俊広	4 子育て支援の計画にもとづいた施策について	1 保育園の運営や開設については、「原村子ども・子育て支援事業計画」にもとづいて行われているということでしょうか。	教育長
			2 同計画 第6章 1. 教育・保育事業等の確保体制で「それらを支援する体制づくりを推進」の体制には前段の「子育て世代が集える場、親子の交流の場」を含むと考えるが、保育園もその場という認識でしょうか。	教育長
			3 「同 3. 計画推進に向けた関係機関の役割で・・・自治会などの地域組織と、適切な役割分担のもと連携を強化し、協同により子育て・子育ての支援の推進を図ります。」とあるが、地域との調整という任務も村の仕事に含まれると解してよいか。	教育長
6	百瀬 嘉徳	1 各区への交付金、補助金の見直しについて	1 汐や道路等の区で行う管理作業（出払い作業等）に援助したらどうか。	村長
			2 通学路の管理作業等への補助金を新設したらどうか。	村長
		2 災害時避難所（一次避難所）の増加について	1 各地区の公民館等への指定状況は。	村長
			2 指定に伴って施設の改修等の状況は。	村長
			3 指定に伴い改修等の補助金を新設してはどうか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
6	百瀬 嘉徳		4 全地区に一次避難所を設置すべきと考えるがどうか。	村長
		3 観光施設の跡地利用について	1 数多くのテニスコートはまだ必要か。	村長
			2 村のテニスコート（樅の木荘南で阿久川南地区）の跡地利用はどうするのか考えはあるか。	村長
		4 エコーライン路肩の植栽木について	1 路肩に植栽した木が、大きくなって枝が路面に出て大型車の通行に支障をきたしていると聞く、景観に配慮しながら伐採した方が良くと思うがどうか。	村長
7	半田 裕	1 総合計画の策定と合わせて、村と住民がともに課題解決ができる仕組みづくりを。	1 第6次総合計画策定の進捗状況は。住民懇談会等、今後住民が参画する機会の予定は。	村長
			2 住民主体で村の地域づくり支援事業補助金の成果をどう評価しているか。また住民からでなく、村発信で課題を共有し、住民や民間事業者が提案・実施できる仕組みづくりをしてはどうか。	村長
		2 持続可能な地域の防災力を確保するための基盤づくりを	1 消防団員の定数 200 人に対しての充足率は。この定数は何を元に算定されているか。	村長
			2 令和5年度の全体訓練・全分団出動の出席率は。また、この率を村はどう評価しているか。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
7	半田 裕		3 分団区域に対しての消防力の確保や、団員の効果的な確保のために、今後分団毎の定数（目標数）を検討してはどうか。	村長
			4 地域の防災力維持のため機能別団員を導入し、OB等による組織を編成しては。	村長
			5 村として、団員確保の課題は何だと認識しているか。 また、現状を把握するために消防団員の対象となる住民へのアンケートを実施してはどうか。	村長
			6 団員の負担軽減のため、より効率的な訓練の実施と各団員がしっかりと技術を習得できるよう、団として訓練マニュアルやチェックリストの作成をしてはどうか。	村長
			7 新入団員確保のためには消防団へのイメージアップが必要だが、村ではどのような取り組みが行われているか。	村長
			8 消防団協力事業所表示制度の有効活用を。（協力事業所の公表・村内事業所への周知）	村長
			3 災害時における消防団活動の体制作りを	1 地域防災計画では消防団に対して多くのことが期待されているが、その点について団員への周知が不十分と考える。今後どのように周知していく予定か。

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
7	半田 裕		2 災害発生時に緊急救出を行うための救助・緊急活動に必要な資機材の整備の状況は。	村長
			3 水防訓練と災害時の対応訓練（応急手当講習・避難所運営等）を隔年で実施するなど、火災以外の災害に対する訓練実施の検討を。	村長
8	小松 志穂	1 自治組織が持続可能であるための村の取組みは	1 自治組織（区・自治会）の加入率は。 また、過去の答弁で区（自治会）の境が明確でないことに対処を するとしているが、現状はどうか。	村長
			2 村は公民協働のむらづくりや災害時の共助の観点から自治組織への加入を「お願い」しているが、現在の対応で十分と考えているか。	村長
			3 自治組織の理解促進や加入促進のパンフレット等を作成し、加入促進を図っている自治体も多い。村でも作成してみてもどうか。	村長
			4 自治組織が抱える問題を村はどのように把握しているか。またその対応は。	村長
			5 自治組織を持続可能なものにするための改革に取り組んでいる自治組織もある。村でも協力業務の見直し等の支援を行う考えは。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
8	小松 志穂		6 自治組織の負担軽減のために対応窓口の一本化が望ましいが、村の考えは。	村長
			7 災害時の自治組織未加入者の対応をどう考えているか。	村長
			8 自治組織未加入者に防災訓練の開催案内や最寄りの避難所情報等を通知している自治体もある。村でもこうした取組みを検討してみてはどうか。	村長
		2 これからの中央公民館の在り方について	1 中央公民館についてもっと使いやすくなって欲しいとの住民要望がある。村はどのように把握し、対応を考えているか。	教育長
			2 住民要望のひとつに、荷物置き場（ロッカー）の設置がある。ロッカーの設置によって「のらぎあ」での来館を促すこともできれば、課題のひとつである駐車場不足にも対応できると考えるがどうか。	教育長
			3 多くの自治体で公民館のコミュニティセンター化の動きがある。メリットも多いと考えるが、村でも検討を始めてみてはどうか。	教育長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
9	宮坂 早苗	1 森林の活用と水源涵養機能保全について、部局横断的な連携と協議を	1 本村では、飲み水を地下水から摂取し、豊かな環境であると思っている。この水環境や美しい景観を守るために、環境保全条例がある。しかし、今、この環境保全条例が守られて開発が行われているか、再確認する必要があると考える。民有林を多く有する村として、今後の民有林にも適用される森林経営についても考慮し、安全な水を提供する環境を考えていく必要があるのでは。このことについて環境係、農村整備係が連携し、協議する体制を整えては。	村長
		2 空家法改正による「管理不全空き家等」への対策は	1 令和5年12月13日、空家等対策の推進に関する特別措置法（空家法）が改正され、そのまま放置すれば「特定空家等」に該当する恐れがある状態にあると認められる空家等を「管理不全空家等」と認定し、所有者に対し、市区町村長が必要な措置を執るよう、指導及び勧告することができるようになった。 早急に所有者の把握を行い、所有者等の意向を把握し、把握後には、関係する部局で連携し、対策を考える必要があるのでは。	村長
		3 多様な分野で定住自立圏の連携を強化する考えは	1 八ヶ岳山麓の定住自立圏連携強化を行う考えは。 特に、北杜市は食と農業分野で次世代の子どもたちの食について、有機農産物の導入を全面的に考えており、見習うべきことがある。給食食材の提供など、これまでの取組みを見直し、多様な農業者が参加できる組織にしていく必要があるのでは。	村長

通告番号	発言議員名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
10	佐宗 利江	1 地区の避難所について	1 地区公民館が耐震補強されていない場合の避難先は。	村長
			2 A E Dの設置など準備が整っていないが。	村長
		2 社会福祉協議会との関係について	1 サービスの向上が求められているが村の考えは。	村長
			2 組織の充実を図るために村として出来る事は。	村長
		3 村内の土地利用について	1 宅地開発等、不動産関係者との懇談の内容は。	村長
			2 農業振興地域の見直しをするべきでは。	村長
			3 今後の見通しは。	村長
		4 DMOの設立について	1 設立の進捗状況は。	村長
			2 具体的な内容や今後について。	村長
			3 観光連盟及び諸団体との関係など村における立ち位置は。	村長